



私の漫画家養成セミナーの生徒達が始めたコスプレグループ Dark Fantasy のコスプレ大会も益々大きな規模になり、10月末にはプノンペンでも屈指の大きさのインターコンチネンタルホテルのホールを使って、水害被害者救済のためのハロウィン・チャリティー・コスプレ大会を開催します。ここにチャリティーを絡めるのも日本の漫画やアニメに感動してコスプレする若い子たちならではの素晴らしい流れです。私も歳とともに、「最近の若いもんは・・・」と、やはりカンボジアでも思うこと

が多いです(笑)が、こんな若者たちもいるということには何か救われた気分になります。私も個人的に若干スポンサーするとともに、私の所属するプノンペンきずなライオンズクラブでもブースを出してドリンク、食事の販売収入をチャリティーに寄付いたします。チャリティーやボランティアをこんな風に広める手助けも今後も行っていきます。

今回のお客さん紹介は足ふきマットを作る「カンニャー」さん姉妹。

日本でも玄関マットとかお風呂場から出たところの足ふきマットはありますが、カンボジアの場合、特にトイレと浴室が一緒なのでトイレ用のスリッパとかはなく、裸足でトイレに出入りすることになるので、日本以上に足ふきマットは大事です。その為デザインもいろいろ豊富です。



丸とかハート形とか、いろいろな形のマットをミシンの台の上でクルクル回して、いや〜結構な職人芸で素早く仕上げていきます。毎日200枚くらい作ってるということです。今ライスマからはミシンを買い替えるのとさらに材料を仕入れるのにと、1000ドルを融資してます。

家の中には子供が、この日は学校がお休みなので、2歳から15歳までの女の子ばかり5人がご飯食べたりテレビ見てたりしました。一番上の子は布を材料の運んできたり、出来上がったマットを袋に詰めたりテキパキ動いてました、こんなふうな家族で仕事手伝ったり下の子の面倒見たりというのが、今の日本ではなかなか見られなくなってきているカンボジアの良いところかもしれないね、家族の中で会話がないな

んていうのはありえません。

働き者のお母さん叔母さんを見ながら姉妹みんな、それぞれ幸せな家庭を持てるようにライスマも応援してます。



2018年10月16日

磯部正広